



青年海外協力隊 シニアボランティア  
2016年度 2次隊 卓球隊員 西岡 昌彦

前回はサイクロン被害の自宅修復状況についてお伝えしました。日本とトンガでは時間感覚に大きな違いがあるのをご理解いただけたかと思います。

さて今回は日本とは異なるトンガならではの車両売買のシステムの話を中心に、自然現象とオマケをお伝えします。

## 1、トンガ式(流)、車両売買

私がトンガに着任したのは2016年10月。1年半経った今、当時と比較すると明らかに車両全体数、そして新しい(きれいな)車が増えたと感じます。人口65,000人のトンガ本島、自宅前の大通りでも午前8~9時頃と午後3時半~5時くらいには渋滞が発生し、これも以前より激しくなったような気がします。トンガの日曜は何もかもが休みになるため、特に金曜は朝から市内中心部へ買い物に向かう車で混雑します。



貼り紙の拡大画像



路上販売中の車両、いずれも自宅の向かい側。



トンガでは路上で貼り紙をしてある車を頻繁に見かけます。そして内容はすべて二行、上段にFOR SALE(販売中)、下段に所有者の電話番号です。この国で車両売買は個人対個人で行われることが多く、その手段として所有者が上記のような貼り紙を付けて交通量の多い場所に駐車(展示)します。基本的に販売価格は表示されておらず、購入希望者は所有者に電話をかけ、お互いの予算が近い場合は交渉に移るようです。

自宅の前はトンガで一番の大通り、日曜を除くほぼ毎日、通りの向かい側には販売中の車両が駐車(展示)されます。多い時には右の画像のように複数の車両が並びます。

日頃よく目にする光景なので特に違和感は感じませんでしたが、ある日なぜトンガではこのような売買方式が成り立つのだろうと疑問に思いました。



駐車(展示)された複数の販売希望車両、その右側は王家の墓。

そしていろいろ考えた末、この国に「駐車違反」の標識が少ないことに気がきました。もし日本の都市、しかも中心部で同じことをしたらたちまち駐車違反のステッカーを貼られること間違いなしです。ところがこの国ではその

禁止区域が少ないため、堂々とこのような展示販売方法が成り立っています。



繁  
華  
街  
の  
路  
駐  
状  
況



道路 = 駐車場、という感覚なので自宅から2ブロックほど先、市場や商店、レストランなどがある繁華街中心の路上は上の画像のように路の両側には隙間なく車両が駐車されています。

さて、上の画像に写っている路上駐車中の車両はすべて買い物や食事が目的の短時間駐車中です。販売中の車は一台もないのに、なぜ自宅前しかも向かい側に販売目的の車両が集中するのかが疑問に感じました。これも私なりに考え、ある結果にたどり着きました。

① 繁華街は慢性的に混雑しているため所有者も駐車しにくい。② 繁華街は購入者も落ち着いて車両の状態を確認できない。③ 同じ大通りでも自宅前は王家の墓の一辺(約200m)のため一段と道幅が広く駐車しやすい。④ 同じく王家の墓側には民家や商店がないため一般の車は駐車する目的がなく満車にならずスペースにゆとりがあるため売り手、買い手双方にとって都合がよい。

以上のような理由から自宅の向かい側が格好の路上販売車の展示場と化していると思います。



なかには左の画像のように周囲の迷惑を顧みず歩道に乗り上げて駐車(展示)をしている車両もありました。何でもありのトンガスタイルです。

次にトンガの自動車販売店状況です。自宅前的大通りを郊外に向かって行った外れのあたりに新車・中古いずれか不明(多分中古)ですが、販売店と思われる店舗が2~3あります。



多分トンガの自動車販売店

日本の自動車販売店では展示車両のフロントガラスに大きく販売価格が表示されているのが一般的ですが、トンガでは3枚の画像にあるどの店舗の車両にも価格は表示してありません。ここは通勤で頻繁に通るのですが、来店客の姿も見ることがなくやはり売買は個人対個人の方が主流なのかなと感じざるを得ません。



なお補足説明ですが、トンガには「Uターン禁止」の認識も少ないためいたるところでUターンする車を見かけ、場合によっては少々危険も感じます。車両数が増加していく中、近い将来この国でも「駐車禁止」「Uターン禁止」などの交通規則が強化される気がします。

## 2、虹

晴天の際は大変過ごしやすく一日も平穏無事に終わるのですが、雨天の際は尋常ではない激しい降り方をしたり、普通に降っても場所によってスポーツシューズやスニーカーでは渡り切れないほどの大きな水たまりができ大変苦労します。それなりに雨の多いトンガですが、直後に日差しを受けた際には頻繁に「虹」を見ることができます。自然現象であるため、撮影チャンスが少ないのですが、いくつか成功したものを紹介します。



少々脱線しますが、雨天の際も「全天候対応国民的履物」であるビーチサンダルで大きな水たまりを平然と渡って行くトンガの人々の姿は頼もしくもあり羨ましくもあります。



さて自然現象とはいえ、順番からしたらよくできたもので雨上がりに虹を見ると何だかツキがあるように感じて気分が安らぎます。順番が逆で虹が雨の前兆でなくて良かったと思います。

そして画像ではわかりにくいかもしれませんがトンガの虹は日本より色鮮やかでアーチもしっかりしているような気がします。いかがでしょうか。

左の画像は日本でも見たことがない「二重の虹」です。雨上がりに練習場から外に出た際、偶然目にしてとっさにシャッターを切りましたが何とかうまく撮影できました。

サイクロン被害により生活の不自由を余儀なくされましたが、それを忘れさせるような美しい光景を見ることができ、私はトンガに来れたことを幸せに思いました。

## 3、オマケ

つい先日、5/22(火)にもこんな客船が入港しましたのでトンガレポート11でお伝えできなかった栈橋の様子を



撮影しに行ってきました。

昼の時間帯でしたので船の乗客は観光に出かけるか昼食のためあまり人影はありませんでしたが、客船来航時にはご覧のように栈橋に土産物店のテントが立ち並び、首都ヌクアロファも活気づきます。